

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 7 日 (2016.1.7)

【公開番号】特開 2014-99337 (P2014-99337A)

【公開日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-028

【出願番号】特願 2012-250801 (P2012-250801)

【国際特許分類】

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

F 2 1 K 9/00 (2016.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 V 23/00 1 1 5

F 2 1 S 2/00 2 1 9

F 2 1 S 2/00 2 1 5

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 11 日 (2015.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

LED 素子を実装された LED 基板と、
前記 LED 素子を点灯制御する点灯回路基板と、
前記点灯回路基板を収納するとともに前記 LED 基板を表面部に設けた筐体と、
前記筐体の表面部の前記 LED 素子からの光が出射される方向を覆う透光性カバー、と
を備えた LED ランプであって、
前記 LED 基板に対して、前記 LED 素子からの光が出射される側にセンサ基板を有し

、
前記センサ基板は、前記透光性カバーに固定されている、LED ランプ。

【請求項 2】

前記透光性カバーの内側に前記センサ基板を収容する収容部を有する、請求項 1 に記載の LED ランプ。

【請求項 3】

前記センサ基板は、前記透光性カバーの一部であって取外し可能に設けられたセンサ用透光性カバーで覆われており、該センサ用透光性カバーの底面部に取り付けられている、請求項 1 に記載の LED ランプ。

【請求項 4】

前記センサ基板と、前記点灯回路基板とは、コネクタを介して結合されており、前記コネクタが結合されたときに、前記センサによるセンサスイッチモードが開始され、前記コネクタが離脱したときに、前記センサスイッチモードから手動スイッチモードに切り替わるスイッチ切り替え制御手段を有している、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の LED ランプ。

【請求項 5】

前記スイッチ切り替え制御手段は、前記センサ基板から前記点灯回路基板へ送信される検知信号の変化から、前記コネクタの結合を判定する回路と、人の存在を判定する回路を有しており、

前記検知信号の大きさが、前記コネクタが結合しているときに発する信号よりも大きい値である第１の設定値以下であれば前記コネクタが離脱していると判定し、人の動きを検知することが可能に設定された第２の設定値以上であれば人が存在すると判定する、請求項４に記載のＬＥＤランプ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明に係るＬＥＤランプは、ＬＥＤ素子を実装されたＬＥＤ基板と、ＬＥＤ素子を点灯制御する点灯回路基板と、点灯回路基板を収納するとともにＬＥＤ基板を表面部に設けた筐体と、筐体の表面部のＬＥＤ素子からの光が出射される方向を覆う透光性カバー、とを備えたＬＥＤランプであって、ＬＥＤ基板に対して、ＬＥＤ素子からの光が出射される側にセンサ基板を有し、センサ基板は、透光性カバーに固定されている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、透光性カバーの内側にセンサ基板を収容する収容部を有してもよい。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

そして、センサ基板は、透光性カバーの一部であって取外し可能に設けられたセンサ用透光性カバーで覆われており、該センサ用透光性カバーの底面部に取り付けられていてもよい。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

そしてまた、センサ基板と、点灯回路基板とは、コネクタを介して結合されており、コネクタが結合されたときに、センサによるセンサスイッチモードが開始され、コネクタが離脱したときに、センサスイッチモードから手動スイッチモードに切り替わるスイッチ切り替え制御手段を有していてもよい。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

さらに、スイッチ切り替え制御手段は、センサ基板から点灯回路基板へ送信される検知信号の変化から、コネクタの結合を判定する回路と、人の存在を判定する回路を有しており、検知信号の大きさが、コネクタが結合しているときに発する信号よりも大きい値である第 1 の設定値以下であればコネクタが離脱していると判定し、人の動きを検知することが可能に設定された第 2 の設定値以上であれば人が存在すると判定してもよい。